

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.46 都市計画道路3・4・19号線整備事業			担当課	市街地整備課			予算費目名	款 8	項 3	目 1	
事業概要 及び目的	JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業施行地区内の都市計画道路3・4・19号線の整備に併せ、施行地区外の拡幅整備を行い、交通動線の円滑化および安全を確保する。(延長=約100m、面積=約650㎡)			成果指標 ①事業用地取得面積 ②道路整備延長	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
					予算額(単位:円)	6,500,000	0	4,220,000	7,560,000			
					決算額(単位:円)	0	0	3,150,000				
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 都市計画道路は、都市の骨格となる重要な基盤施設であり、道路網整備は重要施策となる。 また、本事業はJR津田沼駅南口特定土地区画整理事業と密接に関連しており、同事業と併せて施工することにより、効果的な道路網整備が推進される。	従事職員数	2	2	2				
	節	3	快適な生活環境の創造		従事延べ日数	65	21	60				
	項	1	都市基盤の整備・充実		民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等 形態は? :						
	号	1	道路網整備の推進									

2. 進捗状況

平成21年7月10日記入				平成22年5月28日記入				平成23年4月20日記入						
年度	21年度評価(20年度実施した事項についての評価)				22年度評価(21年度実施した事項についての評価)				23年度評価(22年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	調査	実施計画の予定 年度終了後	一部実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	用地買収	実施計画の予定 年度終了後	未実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	工事	実施計画の予定 年度終了後	計画策定	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項				教育委員会等の関係部署と協議が整わなかったことにより、交差点協議は未了。なお、平成21年度以降も引き続き事業を推進する。				教育委員会をはじめとする関係部署と協議が整わなかったことにより、交差点協議は未了。なお、平成22年度以降も引き続き事業を推進する。	・詳細設計(道路整備計画、交差点協議)				道路整備計画について、関係部局との調整が整った段階であり、用地買収等は未了。なお、平成23年度以降も引き続き事業を推進する。	
継続している 事項	・詳細設計(交差点協議)				・詳細設計(交差点協議)				・					
未着手事項	・詳細設計(建物調査、測量等) ・用地買収(約650㎡) ・工事(約100m)				・詳細設計(建物調査、測量等) ・用地買収(約650㎡) ・工事(約100m)				・詳細設計(建物調査、測量等) ・用地買収(約650㎡) ・工事(約100m)					
改善案	用地確保に向けた手法の確立を図る。 (事業用地、代替用地)			成果指標	用地確保に向けた手法の確立(事業用地、代替用地) 関係機関の承諾が得られる案の作成に向け、道路実施設計等を平成22年度に実施する。			成果指標	用地確保に向けた手法の確立(事業用地、代替用地) 関係機関の承諾が得られたことから、今後は用地買収、整備工事に取り組む。平成23年度は、家屋の調査、測量を実施する。			成果指標		
				実績値 ①0㎡ ②0m	達成率 ①0% ②0%				実績値 ①0㎡ ②0m	達成率 ①0% ②0%				実績値 ①0㎡ ②0m

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。		平成21年7月23日協議実施				平成22年6月1日協議実施				平成23年4月22日協議実施							
今後の方向性	成果の方向性	拡充		○					○					○			
	現状維持																
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	縮小																
	休廃止																
		休廃止	縮小	現状維持	拡充			休廃止	縮小	現状維持	拡充			休廃止	縮小	現状維持	拡充
	コストの方向性				コストの方向性				コストの方向性								
方向性を実現するため実施すること(改革案)	関係部署が承諾できる案を策定する。				★上記を選択した根拠 関係機関との協議を継続するとともに、関係機関の承諾が得られる道路整備内容を検討するため、道路実施設計を行い、JR津田沼駅南口土地区画整理事業の進捗に併せた、早期の着工を目指す。				★上記を選択した根拠 道路整備計画の関係機関の了解が得られたことから、用地取得に向けた取り組みを進め、JR津田沼駅南口土地区画整理事業の進捗に併せ、早期着工を目指す。								
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 関係部署との協議がと整わなかったことから、事業実施の段階まで至らなかった。				□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 関係部署との協議を引き続き行ったが、事業実施の段階まで至らなかった。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。								